

市民参加実施結果シート

結果 (途中・**終了**)
平成31年4月1日時点

担当課(社会福祉課)

2 市民参加の手續 実施結果について		
通称	流山市避難行動要支援者避難支援計画(災害時要援護者避難支援計画)の改正について	市が考える市民等への影響 メリット ・災害時の避難に支援を要する要支援者の実情把握や地域での理解に努め、避難支援が地域で行われる体制づくりを進める。 ・普段からの孤立死防止や異変・急病の早期発見に向けた取組みが災害時の支援にもつながるよう、地域支え合い活動を推進する。 デメリット 特になし
名称	流山市避難行動要支援者避難支援計画	
概要	自然災害が頻発するなか、高齢者・障害のある人・要介護認定を持つ人など、災害時の避難支援に配慮が必要な避難行動要支援者が増加している。すべての市民が安心安全に暮らし続けられるように、支え合いの体制を地域で連携して構築するために本計画を策定するもの。	
市民参加の実施結果を踏まえた担当課の意見	複数の市民参加の機会を確保したことで、多くの方の意見を聴取することができた。パブリックコメントによる意見提出は無かったものの、審議会において高齢者・障害者当事者の意見を直接聴取し計画案に反映できたと思う。	

(1)市民参加の実施内容

市民参加の方法を選択した理由・実施時期(流れ)を選択した理由	審議会:専門的な見地からの調査や審議、意見を聴取する必要があると考えたため。 パブリックコメント:素案を広く周知するとともに、素案に対する具体的な意見を聴取できると考えたため。
--------------------------------	---

市民参加の手法	開催告知日	募集期間	受付方法	開催日・場所等	対象者・人数等	委員構成	結果の公表	意見の反映	工夫したこと	その他特記事項
福祉施策審議会	<広報紙> 平成30年8月1日号 平成30年9月1日号 平成30年10月1日号			<開催日> 平成30年8月8日 平成30年9月12日 平成30年10月4日	【出席委員数】 15名 13名 15名	・福祉サービスの提供を受ける者を代表する者:2名 ・ボランティア団体の代表:1名 ・社会福祉法人の役員又は職員:2名 ・民生委員児童委員:1名 ・医師会の代表:1名 ・歯科医師会の代表:1名 ・学識経験を有するもの:1名 ・関係行政機関の職員:2名 ・市民等:7名	市ホームページにて議事録を公表	意見を反映した(案を修正した) 案を修正しなかった その他	短い期間の中で、十分な審議時間を確保するために、資料を事前配布し、質疑についても事前に受け付け、その回答を審議会冒頭で説明した。これにより、審議会における自由討議の時間を設けることができた。	障害を抱えた当事者の方の傍聴が多く予想されたため、複数の手話通訳者を配して、情報保障に配慮した。
パブリックコメント	<広報紙> 平成30年11月21日号 <HP> 平成30年11月20日～平成30年12月20日 <各公共施設での配架> 平成30年11月20日～平成30年12月20日	平成30年11月21日～平成30年12月20日	郵便 FAX メール 持参		なし		平成31年2月	意見を反映した(案を修正した) 案を修正しなかった その他	計画内容を伝わりやすくするため、概要版を作成して配布した。 地域での自治会役員・民生委員が出席する会議、平成30年11月8日に開催した地域福祉・地域防災に関する講演会にて、意見を募集している旨を広くPRした。	
								意見を反映した(案を修正した) 案を修正しなかった その他		

